

## 市第88号議案 補正予算説明資料

市民・文化観光・消防委員会資料
平成26年9月11日
消防局

## 歳出関係

款 項 目	補正前の額	補正額	計	補 正 額 の 財 源				節		説 明
				特 定 財 源			一般財源	区 分	金 額	
				国県支出金	市 債	そ の 他				
14 消 防 費	千円 38,904,223	千円 211,032	千円 39,115,255	千円 -	千円 -	千円 -	千円 211,032			千円
1 消 防 費	38,904,223	211,032	39,115,255	-	-	-	211,032			
6 消 防 団 費	1,206,298	211,032	1,417,330	-	-	-	211,032	11 需 用 費	211,032	安全確保対策装備費 (消防団員の安全確保のための装備品 購入に伴う補正)
								(1) 消耗品費	211,032	

## 消防団安全確保対策装備の整備について

### 1 事業背景・目的

阪神淡路大震災や東日本大震災、近年の局地的な豪雨、豪雪や台風等により災害が各地で頻発し、地域防災力の重要性が増しています。

このような状況を受け、地域防災力の充実強化を図り、住民の安全の確保に資することを目的として、平成 25 年 12 月 13 日に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」（平成 25 年法律第 110 号）が、公布・施行され、本法律を受けて平成 26 年 2 月 7 日「消防団の装備の基準」（昭和 63 年消防庁告示第 3 号）が改正されました。

これにより、新たに加えられた装備のうち、災害活動中の安全確保上必要な個人装備品について整備するものです。

### 2 事業内容

「消防団の装備の基準」の改正に伴い、新たに配置が必要とされた装備のうち、安全確保対策装備を緊急に整備します。

#### 【安全確保対策装備】

物 品 名	配置の考え方
防塵メガネ	全消防団員 7,300 人分
防塵マスク	
耐切創性手袋	
救命胴衣	
防火手袋	従来の防火衣一式（防火衣、防火帽、防火用長靴） に新たに追加 2,580 人分

※詳細は裏面のとおり。

### 3 期待される効果

火災現場での消火活動時、また、大地震をはじめ、台風、竜巻、集中豪雨等による大規模災害時に消防団員の安全を確保し、二次災害の防止を図ることができ  
ます。

### 4 事業費

211,032 千円（安全確保対策装備費）

【裏面あり】

消防団安全確保対策装備品

品 目	イメージ	説 明
防塵メガネ		<p>救助現場において、がれき(石、木片やガラス)などの飛散物から消防団員の目を防護するもので、視力に影響を与えたり、目の疲労などが起きたりしないよう配慮したもの。</p> <p>※本市の消防職員に貸与されている保護メガネと同様のもの。</p>
防塵マスク		<p>救助現場において、粉塵等から口腔・鼻腔を防護するもの。</p>
耐切創性手袋		<p>救助現場において、鉄板やガラス片などの鋭利なものによる引裂きや切創、摩擦などから活動する消防団員の手を防護するためのもので、必要な強度を有し、機能的に優れたもの。</p>
救命胴衣		<p>風水害災害時における、巡回警戒や避難者の誘導の際、消防団員(着用者)の身体を水上に安定して浮遊させ安全な呼吸を確保するもの。</p>
防火手袋		<p>火災現場において、消火活動を行う消防団員の手を火傷等から防護するため、炎や熱に対する防護性能を有するとともに、引裂きや摩耗に対して必要な強度を持つもので、機能性に優れたもの。</p>